

荒井会計通信



発行日 平成 21 年 5 月 20 日(水)
発行者 〒162-0825
東京都新宿区神楽坂 3-1-17
ハイポイントビル 5 階
荒井会計事務所
TEL 03-3235-5180
FAX 03-3235-5190
URL : <http://www.e-shoroku.com/>

今年 1 月以来で今年 2 回目の荒井会計通信の発刊である。この間にも世界では様々なことが起こった。米国ではオバマ大統領の就任（米国を再建するには力不足）。オバマ就任後の米国の約 75 兆円の追加財政支出。政策金利を零金利に据置き。米国企業会計基準の時価会計の廃止及び金融機関の不良債権の査定（ストレステスト）。この結果、不良債権を正しく評価せず国家および企業は現時点で約 1500 兆円の粉飾経理を正式に容認した。車両メーカーのクライスラー社の破産。世界経済再生のため 2 年間で、G20（先進 8ヶ国・中・印・ブラジル等）の合計約 500 兆円（努力目標で架空数字である）の財政支出。欧州（EU）でも政策金利を最低の 1%に切り下げた。これらを受けて日本も約 15 兆円の無意味な補正予算（日本国家の破綻の導火線になる。）の決定。話題を時事に焦点を移すと、北朝鮮のミサイル実験、豚インフルエンザに対する政府・行政・マスコミの過剰反応（愛国の国民の不満を他に転嫁させる政治戦略）。小沢一郎民主党代表の西松建設からの違法献金問題に発する党派を超えた政治家の腐敗。

以上列挙した出来事は人間社会を根本から立て直すには、容易でないことを暗示している。自然界は人間社会にいま生き方を問うている。社会を立て直すのは政治でも経済でもない、また隣人でもない、我々自身の問題なのだ。

荒井昇の辛口コラム 21

【人格の形成が今の困窮した社会を救う、それは自然界から体得すべき原理原則である】

冒頭に記載したように、いま現実社会は将来の不安感で充満している。ここから脱却するのにヒントになる本があるので以下に紹介しよう。



世界的な名著『7つの習慣』（スティーブン R・コヴィー - 著）によると、人生の真の成功は自然界の法則（注、下記参照）に基づき、その原理原則を体得し人格に取り入れる以外にない。人格のない人は一時的に成功を収めても、やがて必ずその人格により自分の首を絞めていく。

自分の欠陥、二面性、あるいは不誠実さを持ちながら、テクニックや手法だけで人を動かしたり、士気を高めようとしたらすれば、長期において成功することが出来ない。いずれは、その二面性により相手に不信任が生まれるからである。信頼という土台がなければ、永続的に成功することはあり得ない。

【自然界の原理原則に基づいた土台作りが未来を創る】

私たちは、前の世代がつくり上げてきた土台の上に、自分たちの成功を築くことを繰り返してきた結果、土台そのものを築く大切さを忘れてしまったのだろう。あるいは種を蒔かず長年刈り入れを続けてきたせいで、種を蒔く必要性を忘れてしまっているのかもしれない。

自然界の原理原則に基づき簡素に生活していけば、生活にだんだんリズムが出て来て、我々に何をやるべきかを、自然界は必ず教えてくれる。夢と希望のある人間社会を早く取り戻そうではないか。

注（自然界の法則：春に畑に種を蒔き、夏に手入れ（肥料を与え、雑草刈り等）をし、秋に収穫し、冬には畑と身体をゆっくり休ませ、日が昇れば起き、夜は早寝し十分休息をとる。そして毎日、森羅万象に感謝して過ごす。）



ワンゲル係数

鈴木恵子

荒井会計事務所の事務を担当しております、鈴木と申します。事務所には、もう随分長くお世話になっているので、皆様とお電話ではお話をさせていただいているかと思えます。今回は、犬の話です。皆様は犬を飼っていらっしゃるのでしょうか？

ペットフード協会の 2007 年のデータでは飼育数は推定で 1250 万頭。今や、10 歳以下の子供の数より犬の数のほうが多いということらしいのですが、犬と取り巻く環境は以前と比べて、確かに変わってきています。近年販売されるマンションはたいてい、犬の飼育が可能になり、犬連れ OK のレストランやホテルも増えてきました。人と犬の関係が変化してきているのでしょうか。我が家には、もうすぐ 5 歳になるロングコートチワワがおります。2kg ほどしかないこの小型犬が、すっかり家族の生活の中心に。かわいらしくて、癒されるので、経済的にあれこれかかるのも、仕方ありません。獣医さんご推奨のフードに 2 週間に一度のシャンプー通い。医療費や保険。毛が抜け落ちるのを防ぐ意味もあるのですが、洋服も着ているので被服費が。お散歩に行けば、ドッグランやドッグカフェに立ち寄ることもあり、交際費。そうそう、しつけ教室にも行きましたから、教育費も。介護費用もいずれ・・・。さながら、リトルお子様状態です。私の犬友達は、これら犬に係る費用が増える一方なのを「ワンゲル係数」の上昇と言っています。家計支出の中に占める飲食費の割合のエンゲル係数、こちらを何とか抑えて、このご時世、ママはあなた（犬）のために家計のやりくりをなんとかするワン！

【世界資本主義経済のバブルの崩壊とその規模】

＝日本編 NO2＝

荒井会計通信の今年 1 月 7 日号（NO20）で 1991 年に起きた日本経済の平成バブル崩壊が今回の世界金融危機の導火線になったことを論じた。（裏ページへ）

(前ページより)

その中で、日本のバブル崩壊が米国に波及しないように、米国は必死で経済をグローバル化(金融を規制緩和)させ、凌いできた。

しかしこの経済のグローバル化も自然の生理には勝てない。2007年7月に始まった米国の住宅バブル(サブプライムローンの破綻)崩壊で世界金融危機が発生した。現状は冒頭に述べたとおり、世界的に大規模な財政出動と金融緩和政策を取り、一応金融危機は小康状態にある。

【金融緩和等は一時的な効き目しかない。今秋初めに再度金融危機が襲ってくる。】

『200年に1度の経済危機』である今回の世界経済のバブル崩壊は、冒頭に掲げた財政出動・金融緩和では、とても経済の再建も現状維持も出来る内容でない。再生の処方箋は残念ながら無い。

昨年9月のリーマン事件をきっかけに実施した各国の緊急金融支援対策(財政出動、金利の引き下げ、先物取引の規制等)は今年8月下旬にこの薬の効果が切れ、また金融危機の波が押し寄せてくる。

過去何回も述べているように、今回のバブル崩壊の規模が人類生誕以来の空前絶後で手の施しようがないのだ。

【日本経済のバブル規模】

さて、本論に戻ろう、現時点の日本経済のバブルの規模はいくらなのか。経済バブルの規模は主に①株式②債権③土地・マンションの3つから成り立つ。

①株式バブル：2007年10月のミニバブル時(日経平均株価約17,500円)の日経株価時価総額500兆円である。今年5月15日時点では日経平均は現在約9,400円で時価総額は300兆円だ。今後の景気に適合した日経平均の底値は2010年10月の約3,000円前後で時価総額は約100兆円だ。よって2007年~2010年の約3年間で株式バブルの総額は200兆円プラス200兆円の合計400兆円だ。

②債権バブル：2007年10月の日本の債権時価総額は930兆円のうち投資信託は約4割の370兆円だ。現時点で約210兆円に暴落した。底値は株式と同じ2010年10月で約70兆円になる。この約3年間の債権バブル総額は300兆円だ。

③土地・マンションのバブル：2003年から2007年6月頃までのミニバブルにより、主要都市の商業用不動産を中心に急激に値上がりした。土地・マンションの価格は2012年にピーク時1991年の価格の1/10になる。この2003年の基準価額から算出すると土地・マンションバブルは合計750兆円だ。

【不良債権に対する日本国家の返済能力】

上記①株式②債権③土地・マンションのバブル総額は①株式400兆円②債権300兆円③土地・マンション750兆円で、合計1,450兆円だ。日本のGDPは現時点で、既にピーク時の約510兆円から約400兆円に収縮している。今後2012年までにGDPは250兆円に収縮する。

この数字から推定すると、今後3年間で各1世帯当

りの収入は昨年の年500万円から年250万円(年金世帯の支給額は現在の240万円から150万円)に収縮する。既に国家(国930兆円・地方210兆円・未払年金400兆円)の財政赤字(借金)は1,540兆円に膨れ上がっている。これに今回の世界金融危機のバブル崩壊の不良債権(バブル金額1450兆円×調整率70%≒1000兆円)が国民の借金として加わる。

【既に日本経済は破産状態の中にいる】

日本国家の借金(財政赤字)合計2,540兆円に対して当然利息が掛かる。利子は年最低2%(最終的にはハイパーインフレーションになるので利率は20%前後になる)掛かり、利払い額は年約50兆円だ。現時点での国家収入は真水で45兆円、2011年以降は25兆円に減少する。利払額はマイナス25兆円になり、借金の元本どころか利息25兆円までが毎年借金に上乘せされる。国家自体がサラ金地獄に陥る。想像を絶する破産状態だ。

【世界経済は2010年後半からハイパーインフレーションに突入する】

このままだと、世界経済はハイパーインフレーションの地獄の世界に突進してしまう。荒井昇の辛口コラムで記載したが、私たちは人格主義に基づいて、今やられている将来展望のない、空しい金融政策を放棄し、新しい経済制度を築き上げていかなければならない。

次号に続く